

H27 千葉県中学校総合体育大会 バasketボール大会 総評

第69回千葉県中学校総合体育大会Basketボール大会は、八千代市市民体育館をメイン会場に、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。今年度も、どの会場でも駐車場、会場ともに満車、満員となり、千葉県中学校Basketボール競技の注目度の高まりが感じられる大会となった。

男子のベスト4には、選手権大会王者の辰巳台中(市原)、3年ぶりの関東大会出場を狙う八千代松陰中(八千代)、そして、千葉支部の王者磯辺中(千葉)、選手権大会3位の土気南中が勝ち進んだ。

準決勝の辰巳台中と磯辺中どのゲームは序盤、辰巳台中④薬丸が3Pを決めるとすぐに、磯辺中⑥佐藤が3Pを決め返す、お互いに譲らない好ゲーム。両チームともハーフコートマンツーマンで堅い守りを見せるが、辰巳台中⑥兼重の力強いポストプレーや⑦衛藤のドライブからの合わせから得点を重ねる。一方、磯辺中は④合阪がオフェンス・ディフェンスともに柱となりチームを牽引する。磯辺中は、④合阪、⑤小川、⑥佐藤、⑧橋爪らが果敢にシュートを狙い得点をするも、辰巳台中は⑧石井のミドルシュートがよく決まり、辰巳台中が2年連続で関東大会への出場を決めた。

もう一方の八千代松陰中と、土気南中との準決勝。互いにハーフコートマンツーマンでスタート。八千代松陰中は激しいディフェンスから相手のミスを誘い、⑧田崎の速攻や⑦松岡の3Pを中心に速い展開で攻め得点を重ねる。対する土気南中はエース④古賀の1on1を中心にオフェンスを組み立てる。八千代松陰中の激しいディフェンスに対し土気南中はオールコートマンツーマンで仕掛け、⑥伊集院が果敢にドライブを決めて食い下がるも、八千代松陰中リードのまま試合終了。八千代松陰中が3年ぶりの関東大会出場を決めた。

決勝戦、辰巳台中と八千代松陰中の対戦は互いにハーフマンツーマン Def でスタート。序盤、辰巳台中は⑥兼重をはじめ、④薬丸、⑦衛藤らの巧みなシュートがよく決まる。対する八千代松陰中は⑧田崎のアシストが光り、⑨梶本のインサイドシュート、⑤大谷のドライブで応戦。両者譲らない展開で後半にもつれ込む。辰巳台中のリードで迎えた第4Q、八千代松陰中は粘り強いディフェンスから、⑧田崎がドライブでシュートを決め、このクォーターではじめて逆転に成功。八千代松陰中の1点リードで迎えた残り 0.2 秒、辰巳台中は最後のワンプレーにかけるもシュートに至らず試合終了。八千代松陰中が3年ぶりの優勝を飾った。敗れた辰巳台中も個々の能力が非常に高く、力強いリバウンドや確実なシュート力を持っており、両チームともに関東大会での活躍が十分期待できる。

女子のベスト4には、新人・選手権を制し総体9連覇を狙う第1シードの昭和学院中(市川・浦安)を筆頭に、第3シードの海神中(船橋)、新人戦ベスト4の習志野一中(習志野)、激戦区市川・浦安地区で、選手権準優勝の堀江中を破って第2シードを獲得した市川七中が顔をそろえた。

準決勝の昭和学院中対習志野一中のカードは、互いにマンツーマンDefでスタート。昭和学院中は序盤から激しいディフェンス。昭和学院中は④池見のインサイドと、⑥西江瑠加也のドライブを中心に得点を重ねリードする。対する習志野一中も、⑤鈴木⑥村田が果敢に攻め、オールコートゾーンプレスに切り替えて相手のリズムを絶とうとする。習志野一中はDefのプレッシャーを強め逆転を狙い、習志野一中④大崎、⑦佐藤の連続得点で勢いに乗るが、昭和学院中も確実にシュートを沈める。前半のリードを全員で守った昭和学院中が9年連続となる関東大会出場を決めた。

そして、もう一つの準決勝の海神中対市川七中は、互いにマンツーマンでスタート。市川七中は⑧田中のドライブなどで得点、海神中も⑥高橋、⑬千のリバウンドシュートが決まる。後半、海神中はオールコートマンツーマンDefから⑧目黒の連続3Pで同点に追いつくと、市川七中も⑮高柳のシュートで食い下がる。同点で迎えた第4Q残り7.9秒、海神中⑧目黒がフリースローを2本決めて逆転。市川七中は④田中、⑧田中が果敢に攻めるもシュートが決まらず試合終了。海神中が関東大会への切符を手にした。

決勝戦は、昭和学院中はオールコートマンツーマン、海神中はハーフコートマンツーマンDefでスタート。昭和学院中は⑥西江瑠加也のドライブや⑤山田の3P等で得点。対する海神中も⑤矢野のドライブや⑥高橋のインサイドで得点する。後半、海神中はオールコートのプレスDefに切り替える。昭和学院中は落ち着いてリズムよくパスを展開してボールを運び、確実にシュートを決める。海神中は⑦矢沢のドライブなどで反撃をするも、終始積極的なディフェンスや、確実なシュートでバスケットをした昭和学院中が9年連続の千葉県総合体育大会優勝を果たした。敗れはしたものの、海神中の関東大会での活躍も楽しみである。

男女ともに総体の上位2校は、8月6日から栃木県で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の権利を得られるので、激戦区関東を抜けて全国大会への進出を果たしてほしい。

尚、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議が行われるので、決まり次第、千葉県ジュニアBasketボール連盟のホームページに掲載の予定です。

最後に、今大会も印旛支部、山武支部、八千代支部の役員生徒をはじめ、たくさんの顧問の先生方が、ご自分のチームの練習を二の次にして大会運営に協力していただき、円滑な大会運営をすることができました。本当にありがとうございました。今後の県内各チームのご活躍をお祈り申し上げます。

H26年度 千葉県選抜選手 (県総体の閉会式後に表彰がありました)

(男子)		(女子)	
礒脇 佑真(ちはら台西)	薬丸 侑平(辰巳台)	池見 碧衣(昭和学院)	山田 楓(昭和学院)
加藤 大夢(葛 飾)	能瀬 竜一郎(前原)	タリツ杏奈(昭和学院)	西江 瑠加也(昭和学院)
大澤 響生(印 旛)	長谷部龍太郎(習志野台)	高橋 菜花(海 神)	中野 杏香(八千代台西)
松井 裕也(木 刈)	古賀 大樹(土気南)	石井 輝(南 総)	奥野 聖(中 原)
工藤 貴哉(八千代松陰)	兼重パトリック(辰巳台)	大竹優香子(坪 井)	川股 夕夏(鴨 川)
坂井 千将(七 林)	三上 颯斗(嶺 南)	玉田 和波(堀 江)	鈴木 そら(磯 辺)